

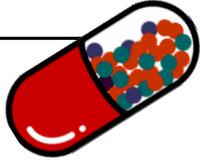
リツキサン+ベンダムスチン療法で入院された方へ

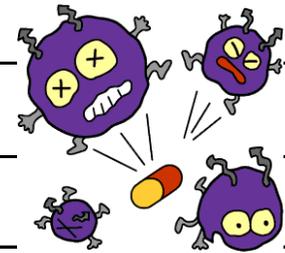
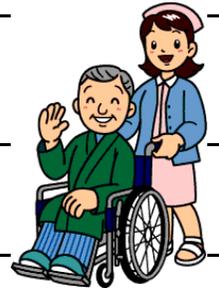
入院診療計画書

患者番号:

患者氏名:

様

日付	1日目	2日目	3日目	4~6日目	7日目~	退院日
目標	治療の内容が理解出来る	点滴が問題なく終了できる	点滴が問題なく終了できる	副作用をすぐに報告できる 日常生活の注意点がわかる		退院後の注意事項がわかる
内服	持参薬があるときは看護師に見せてください。	デカドロン(嘔気止め)を4、5日目の2日間内服します。 バクタ、ゾビラックス(ウイルス感染予防)を2~5日目の4日間内服をします。				
注射		入院2日目はベンダムスチン+リツキサンの点滴があります。 入院3日目はベンダムスチンの点滴があります。				
検査	・採血、胸部レントゲン、心電図の検査があります。				入院8日目に採血があります。	
処置		<ul style="list-style-type: none"> ・点滴投与のための針を挿入します。 ・血管痛出現時には、温罨法や点滴の滴下量を増やして痛みを和らげます。 ・点滴中は心電図モニターを装着します。 				
食事	<ul style="list-style-type: none"> ・特に制限はありません。何を食べていただいても結構です(制限がある方もいます)。 ・食欲がないときは、病院の食事を変更できます。看護師にご相談ください。 ・初日に栄養士からの食事指導があります。 					
活動	特に制限はありません。	<ul style="list-style-type: none"> ・点滴に差し支えない程度であればかまいません。 ・点滴の針が抜ければ特に制限はありません。 				
排泄	排便回数や排便性状を確認しましょう。 便秘をする場合は下剤で調整しましょう。					
清潔	点滴時間以外なら入浴、シャワー浴ができます。 感染予防のためにうがい、手洗いなどに努めましょう。				入浴できます。	
説明	治療前に薬剤師から説明がありません。	血管炎、過敏症について説明があります。		発熱性好中球減少症、血小板減少についての説明があります。		退院後の生活や緊急時の対応の説明をします。
		吐き気があるときには吐き気止めを使用します。				副作用がなければ退院可能です。



※これはあくまでも予定です。場合によっては予定通りにいかないこともありますので、ご了承ください。 福井県立病院 血液腫瘍内科 リツキサン+ベンダムスチン療法で入院された方へ 2024年10月作成

主治医名 担当医名 主治医以外の担当者:看護師

管理栄養士 栄養管理の必要性 あり

上記について説明を受けました 署名 ご本人以外の場合患者様とのご関係()